

令和4年7月



2022.7
広報
Vol.194

さがの土地改良

佐賀県土地改良事業団体連合会
～水土里ネットさが～



〔写真〕「田んぼダムせき板設置式」

CONTENTS

さが水土里ネット女性の会設立総会	1	どかいれんの話題	8~9
◇新人紹介		◇耕作条件改善事業を活用したスマートアグリ宮ノ元 就農者志岐氏へのインタビュー	
佐賀県ため池保全管理サポートセンター	2	◇豪雨災害の未然防止と操作員の安全確保に努めています!	
佐賀県土地改良事業団体連合会第64回通常総会	3	◇佐賀県農地・水多面的機能推進協議会	
第64回土地改良事業功労者表彰伝達式	3	◇田んぼダムせき板設置式	◇ひとこと
第63回全国土地改良功労者等表彰	3		
佐賀県土地改良事業団体連合会 役員一覧・機構図	4		
令和4年度本会役員・職員配置	5~6		
各課紹介	7		
お知らせ			10~11
◇非補助農業基盤整備資金		◇土地改良法律相談	
◇土地改良施設賠償責任保険のご案内			
◇令和5年度採用 職員募集中			
◇未来へつなごう!ふるさと水土里子ども絵画展作品募集		◇連合会手帳	
◇第44回土地改良沖縄大会		◇会員のうごき	

「さが水土里ネット女性の会」設立総会

令和4年4月28日(木)、佐賀市のグランデはがくれにおいて「さが水土里ネット女性の会」 設立総会を開催しました。

この会は水土里ネットの業務に携わる女性の活躍の場を広げることなどを目的に、女性同士のネットワークづくりや意見交換、意見の提言などを行い、佐賀県内の農業農村整備事業の更なる推進と、農業・農村の活性化に寄与することができるよう活動を行っていきます。全国では28番目、九州では5番目の設立であり、土地改良区及び土地改良事業団体連合会の女性役職員31名によりスタートしました。

当日は佐賀県土地改良事業団体連合会 田島会長の挨拶で始まり、宮崎雅夫農林水産大臣政務官のWEBによる祝辞、また、進藤金日子参議院議員からはビデオメッセージをいただきました。



田島会長による挨拶



宮崎農林水産大臣政務官によるWEBでの挨拶



進藤議員によるビデオメッセージ

初代会長に就任されました川登土地改良区の西田会長から、「女性の視点での発想、感覚を農業農村の振興に活かしていけるように意見交換から始めていきましょう」と挨拶がありました。その後、全国水土里ネット 土地改良広報センター 牧千瑞所長より「水土里ネット女性の会2022」～土地改良発展のためにできること～と題して講演をいただきました。

なお、役員選任結果は次のとおりです。

～さが水土里ネット女性の会 役員名簿～

会長	西田 祐子	(川登土地改良区)
副会長	中原 節子	(川上南部土地改良区)
副会長	織田伊津子	(塩田東部土地改良区)
幹事	内川 千恵	(鳥栖市土地改良区)
幹事	田中 清美	(佐賀東部土地改良区)
幹事	宮添 陽子	(浜玉畑総土地改良区)
幹事	田口 美雪	(鹿島市多良岳土地改良区)

任期:令和4年度～令和5年度



西田会長の挨拶

今まで県内土地改良区の女性同士のネットワークはなかったので、この会がきっかけとなり業務向上にも繋がればと期待しています。



「さが水土里ネット女性の会」集合写真

佐賀県ため池保全管理サポートセンター

～令和3年度 取組実績～

本サポートセンターは、ため池管理者へ適正な保全管理を支援するため令和3年6月に開設し、専門技術者による窓口及び現地相談、管理状況を確認する現地パトロール、適正な管理方法や補修、廃止などの技術的な指導・助言、適正管理に向けた啓発等を実施しました。

相談状況

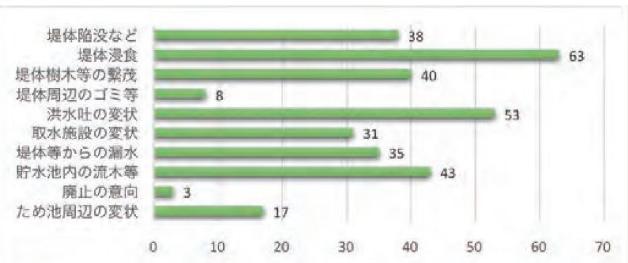


45件の相談がありました
(窓口相談:26件、現地相談:19件)



専門スタッフが管理者からの相談を受け、
指導・助言を行っています。
必要に応じて現地対応も行いました。

現地パトロール



119施設を巡回点検しました



専門スタッフが、管理状況や施設の状態を取りまとめて、管
理者へ適正な管理に向けて指導・助言を行っています。

アンケート結果

サポートセンターの必要性について

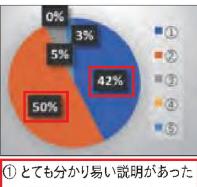
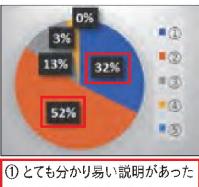
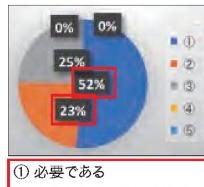
現地パトロールの報告内容について

窓口相談・現地相談の説明について

75%は必要性が高い

84%が説明を納得

92%が説明を理解



- ①必要である
②ますます必要性は高まる
③これからは必要性がある
④必要性は感じない
⑤必要ない

- ①とても分かり易い説明があった
②納得できる説明であった
③説明があった
④説明はあったが、分かりにくい
⑤説明および回答が無かった

管理者へのアンケート結果

現地パトロール及び相談を依頼された管理者・市町担当者へ本サポートセンターに関するアンケート調査を、89名の方に御協力いただきました。

総合的に見ると、サポートセンターの必要性が高く評価され、ため池管理者からの期待が高まっています。

佐賀県土地改良事業団体連合会第64回通常総会を開催

令和4年2月16日(水)に、佐賀市「グランデはがくれ」において、本連合会第64回通常総会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、最少人員での開催となりましたが、田島健一会長の主催者挨拶後、出席者の中から大詫間土地改良区の馬場正幸理事長が議長に選任され議事に入り、第1号議案から第7号議案まで審議の結果、全議案原案どおり承認可決され審議を終了しました。



審議を説く馬場議長



挨拶する本連合会田島会長

第64回土地改良事業功労者表彰伝達式

令和4年3月25日に、佐賀市「土地改良会館」5階会議室において、土地改良事業功労者表彰伝達式が行われ、永年土地改良に携わり尽力された佐賀市 碇正光農林水産部長 他6名の功労者の方々に対して、田島会長から表彰状及び記念品が授与されました。今後も更なるご活躍を祈念いたします。

第64回土地改良事業功労者表彰受賞者(7名)

氏 名	職 名
碇 正 光	佐賀市 農林水産部長
吉 富 義 信	川副町土地改良区 事務局長
綾 部 勝 年	中原土地改良区 理事 (三養基土地改良区 理事)
井 桶 勝 利	三枝土地改良区 副理事長 (三養基土地改良区 理事)
石 井 正	浜玉畠総土地改良区 副理事長
岩 渕 真 彰	大町土地改良区 理事長
溝 上 昇	白石土地改良区 事務局長



第63回全国土地改良功労者等表彰で鹿島市土地改良区が農林水産大臣表彰受賞

鹿島市土地改良区(理事長 中原真毅)が土地改良事業の推進や地域農業の振興に貢献するなどして、団体表彰の最高賞である農林水産大臣表彰を受賞されました。農林水産大臣表彰の受賞は、佐賀県から19年ぶり3団体目となります。(平成2年度 杵島土地改良区、平成14年度 佐賀土地改良区受賞。)

また、個人表彰の全国土地改良事業団体連合会会長表彰に川登土地改良区事務局長西田祐子様が受賞されました。

令和4年3月24日(木)に、東京都「シェーンバッハ・サボー」において、第63回全国土地改良功労者等表彰式の開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、令和4年4月28日(木)に、佐賀市「グランデはがくれ」において、さが水土里ネット女性の会設立総会に先立ち表彰伝達式が執り行われました。



団体表彰を受賞された中原理事長



個人表彰を受賞された西田局長

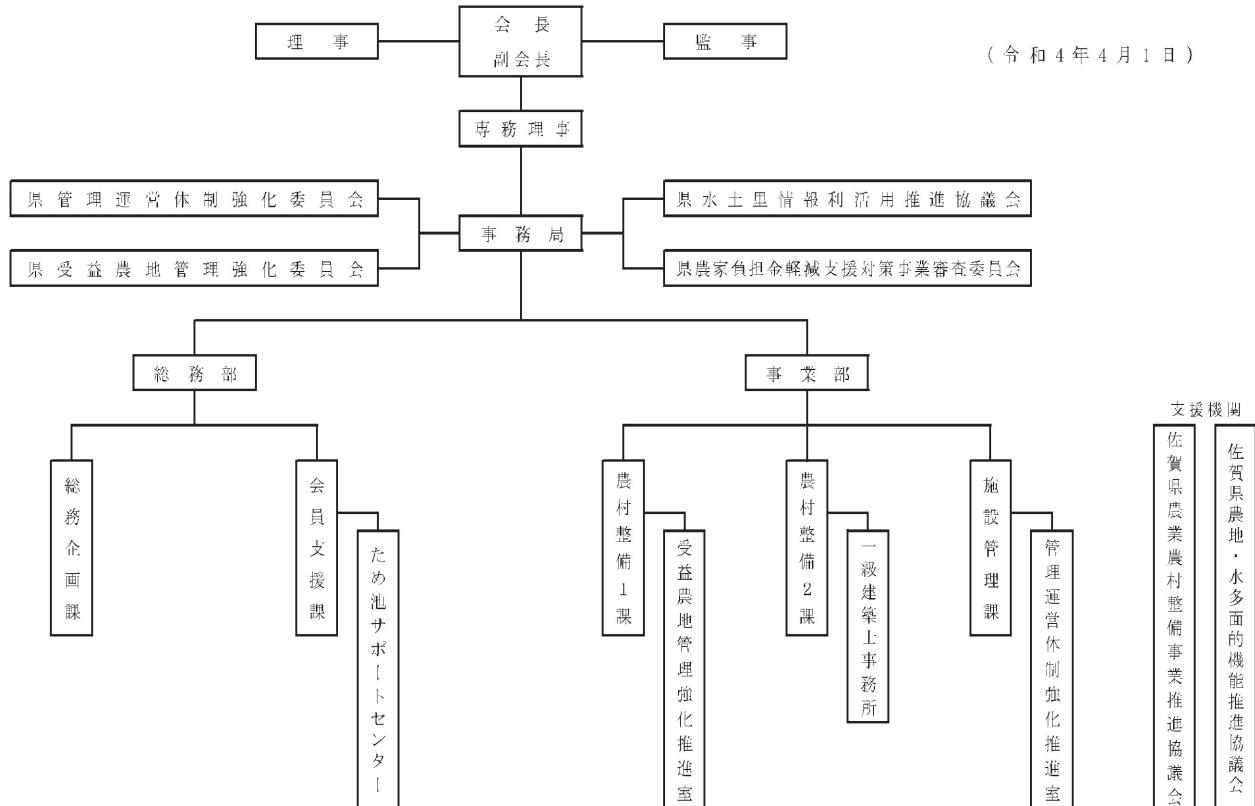
佐賀県土地改良事業団体連合会 役員一覧

(令和4年4月23日付)

役職名	氏名	他の役職等
会長	田島健一	白石町長・白石土地改良区理事長
副会長	江里口秀次	小城市長
専務理事	高田俊行	学識経験者
理事	秀島敏行	佐賀土地改良区理事長
理事	峰達郎	唐津市長・上場土地改良区理事長
理事	深浦弘信	伊万里市長・伊万里市土地改良区理事長
理事	水川一哉	大町町長
理事	坂井英隆	佐賀市長
理事	岡毅	みやき町長
理事	村上大祐	嬉野市長
総括監事	合瀬健一	三日月土地改良区理事長
監事	伊東健吾	吉野ヶ里町長
監事	中原貞毅	鹿島市土地改良区理事長

任期:令和2年4月1日から令和6年3月31日まで

佐賀県土地改良事業団体連合会機構図



佐賀県土地改良事業団体連合会

会長	専務理事	事務局長	部	部長	課
田島 健一	高田 俊行	秋永 一隆	総務部	北原 正昭	総務企画課 土地改良区体制強化財務担当
			事業部	白武 直樹	会員支援課 ため池サホートセンター
					農村整備1課 受益農地管理強化推進室
					農村整備2課 一級建築士事務所
					施設管理課 管理運営体制強化推進室

令和3年度 退職者

～長い間お疲れ様でした～



中央 山口浩史氏
(会員支援課長)

令和4年度 職員配置表

(令和4年4月1日現在)

課長・室長	課長補佐	係長	主任	技師 主事	技師補 主事補	再雇用 会計年度
竹下 正則	真島 隆晃	(兼)坂口みどり 光武 進哉		江川 綾香 貞富 光美		川内野恵子
	(兼)会計指導員 真島 隆晃			(兼)会計指導員 江川 綾香		
坂口 誠治	中井 崇敬 山口 和博	坂口みどり	北村 直樹 下平 諒	片渕 槟也 中島 和哉		(再)泉 博文 古賀 幹子 古賀 敏昭 中野 麻理
(兼)センター長 坂口 誠治	(兼) 山口 和博		(兼) 下平 諒			
牟田口 保	西村 信哉	野口 一成 石橋佳代子 大吉 剛史 石丸 和幸		辻田 達也	松尾 幸亮 増田 涼大 横町 新奈	(再)山口 浩史 北村 武士 中山 香織
(兼)室長 牟田口 保		(兼)換地専門指導員 石丸 和幸				
赤崎 公壽	古川 秀一	八木 隆之 中道 範明	原 祥太 江頭 英貴		山田 泰大 石瀧奈々未	馬郡 正貴 笠原 真美
(兼)一級建築士 赤崎 公壽						
江頭 真一	奥 清輝	真島 孝太 山口 国広	井上 佳史	佐藤 凌弥	山田 陽人 内田 直大	中園まゆみ
(兼)室長管理専門指導員 江頭 真一	(兼)管理専門指導員 奥 清輝	(兼)管理専門指導員 真島 孝太 (兼)管理専門指導員 山口 国広				

(兼)は役職等の兼務 (再)は再任用

農地・水多面的 機能推進協議会

事務局長	課長	係長	主事	会計年度
(兼) 秋永 一隆	(兼) 坂口 誠治	【出向】 溝口 弘	(兼) 江川 綾香	(兼) 古賀 幹子

(令和4年4月1日付 課長級以上)

氏名	新	旧
牟田口 保	農村整備1課 課長	農村整備1課 課長補佐
坂口 誠治	会員支援課 課長	会員支援課 課長補佐

本会 人事異動



各課紹介

○総務企画課

農業農村整備事業推進のため、全国、九州、県の各事業推進協議会の事務局として、国に対し地域の実情を伝え、今後のNN関連予算の確保等について提案、要請活動を行っています。また、土地改良区に複式簿記導入を推進し、貸借対照表の作成に伴う会計指導を行っています。



農林水産大臣政務官への要請活動



会計指導員による指導状況

○会員支援課

会員からの相談業務をはじめ、ため池サポートセンターでは、防災重点農業用ため池の防災工事推進のため、管理者からの相談、パトロール、技術指導など、監視・保全管理を目的とした業務を行っています。水土里情報係では、水土里情報システムを活用した、農地や農業水利施設の図面作成や、地震、豪雨などの災害時における住民の避難活動の指針となる「ため池ハザードマップ」の作成支援を行っています。



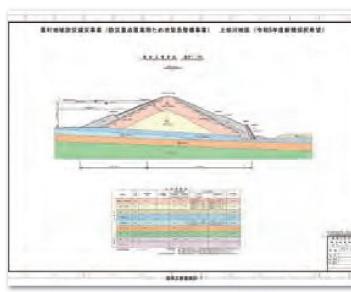
ため池現地パトロール



ハザードマップ作成のための地域住民検討会

○農村整備1課

土地改良事業計画書作成をはじめ、各種事業の設計・積算業務に関する指導及び支援を行っています。また、事業推進のための企画や研究等を行い、受益者に必要とされる事業への取り組み支援を行います。近年では換地・確測業務を統合し、事業計画から換地登記までを一貫的に推進できるよう体制を整え、指導及び支援を行っています。



ため池の一般計画平面図(事業計画用)



換地・確測の地元説明会(換地委員会)

○農村整備2課

主に農村下水道の設計・施工に係る支援業務に携わっています。下水処理場から出た汚泥は発酵させることにより、堆肥(コンポスト)として農地に還元されますが、その利用状況のフォローアップを兼ねてキャベツの収穫の手伝いをさせていただきました。なお、令和3年度より新たな事業(農村整備事業)が立ち上がったことにより、汚水処理施設の詳細調査を本年度から本格的に取り組むこととしています。



汚水処理施設の調査



キャベツ収穫の手伝い(嬉野市塩田町にて)

○施設管理課

農業用施設の長寿命化を図るために、地域ストックマネジメント事業、基幹ストックマネジメント事業の計画・設計・積算業務を行っています。土地改良区体制強化事業では、要請診断や定期診断により施設の適正な維持管理の助言を行なっています。また、排水機場点検業務では、雨期及び台風時にポンプの正常運転ができるように点検業務を行っています。



ポンプ運転時の騒音確認



水路の要請診断

どかいれんの話題

新人紹介



農村整備1課

よこまちにいな
横町新奈

Q1 農業土木に興味を持ったきっかけは?

大学で農学部に入り植物関係に携わると思っていましたが、流れに身を任せているうちに農業土木を学ぶに至り、初めは全く興味なかったのですが、子供のころ遊んでいた田んぼもク

リークも農業土木の分野なのだと知ったことで興味が湧いてきました。尊敬する祖父も農業ではないですが、土木の仕事をしていたので、私も農業土木の仕事に就こうと思いました。

Q2 趣味(マイブーム)や特技は?

飽きっぽくいろいろなことをするのですが、お絵描きだけはずっと好きです。最近はちりめん細工にはまっていますが、今はもう飽きてしまい布がたくさん余っています。

仕事を始めてから運動不足なので何か熱中できる運動に出会いたいな、と思っています。

Q3 今後チャレンジしたいことは?

いろいろな資格・検定試験、いきあたりばったり電車1人旅、ダイエット(-8kg)など

Q4 初任給は何に使った?

うっかんげて立つとも寝るともざっとなかごんなつった(壊れてたつことも寝ることも大変な状態になっていた)おばあちゃんのソファーを買い換えました。

アルバイトと違い給料から色々引かれた社会人の「手取り」の厳しさを味わいました。

Q5 これからの抱負をひとこと!

4月に土地改良連合会に入職し、自転車歴も16年目を迎えました。早く自分の車を持ち上手に運転できるようになることが今年の目標です。業務も社会人としてもまだまだですが、優しい先輩方の下で様々なことを学ばせていただいている。地域や連合会に貢献できるような1人前に1日でも早くなりたいと思っていますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

耕作条件改善事業を活用したスマートアグリ宮ノ元 就農者志岐氏へのインタビュー

嬉野市が進める施設園芸団地は、農業の担い手不足や高齢化が進む中、新規就農を促し、定住できる環境を整えることを目的として「スマートアグリ宮ノ元」が計画され着工されました。同市塙田町にある団地は面積4.14ha、総事業費2億5千万円を投入し、2023年末までに9区画に分けて整備を進めています。

ハウス施設は耐候性で、温度や湿度、二酸化炭素濃度などをコンピューターで制御する最新機能を備え、ハウスを含めた施設はJAが整備し就農者にリースすることになっています。また、栽培に必要な井戸掘削や基盤整備は嬉野市が行うことにより、団地への就農による初期投資を大幅に抑えられることで応募しやすい体制を整えています。

さらに、長期的な営農計画に基づいた人生設計を可能にし、将来的に地域経営の主役となり耕作放棄地対策やコミュニティ活動で指導力を発揮できる人材を育てることを目標にしています。

近隣農家からの期待は大きく、土づくりに必要な堆肥は近隣の畜産業者から約20tほど無償提供され、今後も就農者に対して堆肥を提供するなど協力体制が構築されています。

事業を行う村上嬉野市長は「地域に若くて意欲のある農業者を生み、定着させる成功例になるよう、国、県、JA、市、地元が一体となってこのプロジェクトを発信していきたい」と期待されています。



就農者第1号志岐さんと語る土連職員



「温度や湿度などコンピューターで制御しています」

豪雨災害の未然防止と操作員の安全確保に努めています!

近年、豪雨による災害が頻繁に発生しており、なかでも農業用水利施設の被災やこれに従事する操作員の事故については重要な課題となっています。本会施設管理課では、これらの課題に対し県をはじめ関係市町・土地改良区と連携を図り、少しでも被害や事故を軽減できるように努めています。

佐賀県土地改良事業団体連合会 施設管理課 山田 陽人

昭和54年に県営圃場整備事業で造成された用排兼用の農業用水利施設は、造成後35年が経過しており、排水等の水管理は地元の管理者へ委ねられていますが、従来のスピンドル式スライドゲートでは降雨のたびに現地での操作が必要となります。特に操作員の高齢化が進み、洪水時には周辺の冠水等もあり非常に危険を伴う作業になっていました。

このため、管理の効率化と操作員の安全性を確保するために「土地改良施設維持管理適正化事業」を活用して、「スライドゲート」から「転倒ゲート」への更新を行いました。このことで、急激な水位の上昇にも対応が可能となり、また、排水時には現地での操作が不要になり、降雨時の操作による事故への懸念が大きく軽減されるようになりました。

なお、令和3年の佐賀豪雨では正常にゲートが作動し、令和元年の豪雨時よりも淡水被害を抑えることが出来ました。



現況(スライドゲート)



更新後(転倒ゲート)



『佐賀県農地・水多面的機能推進協議会』情報

『令和4年度幹事会及び総会を開催しました』

◇幹事会 令和4年5月17日 佐賀市(四季彩ホテル千代田館)

◇総会 令和4年5月30日 佐賀市(グランデはがくれ)

第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算

第2号議案 令和4年度事業計画及び収支予算(案)

以上、全会一致で可決されました。



議長を務める田島会長

『田んぼダムせき板設置式』

近年の集中豪雨により各地で浸水被害が頻発しており、この対策の一環として、佐賀県では大雨時に雨水を一時的に田に貯留する「田んぼダム」を推進しています。

令和4年6月10日、武雄市東川登町内田公民館付近において、山口佐賀県知事及び小松武雄市長をはじめ、地元農家や下流域住民の代表者並びに川登中学校生徒代表など関係者約30人が出席のもと「せき板設置式」が開催され、県協議会から高田幹事長(県土地改良事業団体連合会専務理事)が出席しました。

県内では当初800haの取り組み面積を想定していましたが、県及び関係市町等の浸水対策への熱意と農家の協力が実を結び、その後1200haの取り組み面積へと拡大しました。山口知事の挨拶では「農家関係者への感謝と25メートルブル4000杯分に相当する120万m³を貯留できる」と期待を寄せられました。

なお、今年度佐賀県田んぼダム推進事業に取り組む市町は、佐賀市、多久市、神埼市、吉野ヶ里町、鳥栖市、上峰町、みやき町、武雄市、嬉野市の9市町となっております。



せき板を手に挨拶する山口佐賀県知事



せき板を設置する地元中学生



田んぼの排水口に小さな断面の切り欠きをあけた調整板を設置し、大雨時の水の流出を抑制することで、田んぼがダムの役割を果たす。

多くの田んぼで取り組むことで、水路や河川の水位上昇を緩和し、下流域の洪水被害を軽減する効果がある。



～ひとこと～

「やめよう! 佐賀のよからうもん運転」

農家の長男である私は、農繁期に農作業を手伝うのですが、今回「佐賀県農業大学校」で農業機械化研修及び試験を受けることにしました。受講は人気絶頂で、予約後1年近く経ちようやく受講できるほどです。受講者は年配者(70代)から若年者(30代)まで幅広く、中には女性の方も受講っていました。講義は、コンプライアンスの重要性や安全運転の方法等を学び、実技では試験を受けるコースでの指導となりましたが、安全確認の多さには驚きました。その後も実技を受講し、計4日間の研修の成果として実技試験を受験、無事に合格しました。これまで、「トラクターくらいよからうもん」と思っていましたが、最近は高齢者の暴走運転等を目の当たりにして、「相手から追突される危険性があるな」と感じ、大型特殊免許の取得に取り組みました。もしも、無免許運転で検挙された場合は刑事罰&行政処分が下されます。刑事罰は「3年以下の懲役または50万円以下の罰金」、行政処分は「最低で25点の違反点数」となりますので「免許取消」、さらに「次格期間2年以上」です。地方で暮らすものにとっては損失が非常に大きいです。改めて自分に言い聞かせています。「やめよう! 佐賀のよからうもん運転」

水土里ネットさが 農村整備1課
石丸 和幸



大型特殊免許取得の受講の際に使用されるトラクター

お知らせ

非補助農業基盤整備資金をご活用ください

土地改良区等が国からの補助を受けないで実施する土地改良事業・生産基盤整備事業等に対して、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に土地改良区等に対し低利で融資する資金です。国の補助事業でない事業（県又は市町単独補助事業）についても融資の対象となります。

～融資用途の例～

- かんがい排水やほ場整備、客土等の事業を実施し農業基盤整備の整備・保全の推進を図る場合の費用
- 農業集落排水事業の実施において、国等の補助金以外の受益者が負担する部分（トイレ、浴室、洗面所の改修）
- 土地改良区等が行う土地改良施設の維持管理事業に対して、揚排水機場・用排水路・フェンス等の設置、土地改良区事務所の建設や事務機等の購入費用など

利 率	融資時の利率は金融情勢により変動
償 返 期 間	25年以内（うち措置期間10年以内）
貸 付 限 度 額	農家負担額（最低額50万円）

<問合せ先> 会員支援課(0952)24-6474

土地改良法律相談で問題解決の糸口を！

土地改良事業（土地改良法）に関する諸問題へ本会の顧問弁護士が法律的な観点から問題解決へと努めています。相談費用は本会が負担しておりますので、まずはお気軽に問い合わせください。

～これまでの主な相談内容例～

- 賦課金滞納処分に関する相談
- 土地改良区運営に関する相談
- 土地改良事業を円滑に遂行するための相談



<問合せ先> 会員支援課(0952)24-6474

土地改良施設賠償責任保険のご案内

市町・土地改良区が使用または管理する土地改良施設の欠陥や管理ミスなどに起因する事故で、他人へ傷害を与えたり財物を損傷させた場合など、法律上の損害賠償責任を負う場合に対し保険金をお支払いするものです。

<問合せ先> 会員支援課(0952)24-6474

施設種別	保険料
農道	60円/km
用排水路	60円/km
溜池・貯水槽	250円/箇所
パイプライン	600円/km

令和5年度採用 職員募集中



令和5年度採用試験の詳細については
本会ホームページまたは
下記までお問合せ下さい。

佐賀県土地改良事業団体連合会 総務企画課
tel : 0952-24-6268
mail : soumu@midorinet-saga.jp
URL : <https://www.midorinet-saga.jp/>



未来へつなごう ふるさと水土里子ども絵画展 作品募集



The image is a collage of five different artworks. The top-left is a landscape painting of a field with birds flying over it. The top-right is a black and white portrait of a woman's face. The middle-left is a colorful illustration of a frog. The middle-right is a painting of a boy looking at a plant. The bottom-left is a group of people gathered together.

会員支援課 電話 (0952)24-6474

連合会手帳

主な行事

	内 容	開催地
7月中旬	佐賀県管理運営体制強化委員会及び受益農地管理強化委員会	佐賀市
7月25日	九州NIN推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会 合同政策提案	熊本県
8月4日	佐賀県土地改良事業団体連合会監事会	佐賀市
8月8日、9日	九州NIN推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会 合同政策提案	東京都
8月下旬	佐賀県土地改良事業団体連合会理事会	佐賀市
10月20日	農業農村整備の集い	東京都
8月31日	土地改良区役職員研修会	佐賀市
11月22日	第4回全国土地改良大会	沖縄県

第44回土地改良沖縄大会

The image is a promotional collage for the 44th National Soil Improvement Conference and Okinawa Conference. At the top left and right are traditional Okinawan lion statues (shisa). The central image is a satellite map of East Asia, focusing on China and Japan. The collage is framed by various food-related images: purple flowers, a tray of eggs, raw meat, green vegetables, pineapples, and tropical fruits. At the bottom is a photograph of a large, modern, multi-story building with a curved facade and glass windows, set against a clear blue sky.

〈問合せ先〉

總務企画課 電話 (0952)24-6268

～会員のうごき～

(令和4年5月末)

管内	市町	改良区	計
佐賀中部	3	21	24
東部	6	9	15
唐津	2	3	5
伊万里	2	3	5
杵藤	7	9	16
計	20	45	65

広報『さがの土地改良』2022.7 Vol.194
発行 佐賀県土地改良事業団体連合会
編集 総務部 会員支援課
〒840-0811 佐賀県佐賀市大財三丁目8番15号
☎ (0952) 24-6474(直通)
✉ kaiin@midorinet-saga.jp